



埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県 獣医師会 会報

第 663 号

平成31年 1 月20日編集

発 行 所
公益社団法人 埼玉県獣医師会
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
(埼玉県農業共済会館内)
電 話 048(645) 1 9 0 6
F A X 048(648) 1 8 6 5
E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp
URL : <http://www.saitama-vma.org/>
振替口座 00110 - 9 - 195954番

発行責任者 高 橋 三 男

編集責任者 大 橋 邦 啓

印 刷 所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記事の内容

新年のご挨拶	1
公益社団法人埼玉県獣医師会創立70周年記念 事業 盛大に開催される	3
平成30年度埼玉県家畜保健衛生業績発表会開 催報告	25
北海道胆振東部地震復旧支援・動物救護活動 のための支援金募集の終了について	27

会務報告

第5回理事会	28
--------	----

予告

北支部学術講習会のお知らせ	29
北支部学術講習会のお知らせ	29
南支部学術講習会のお知らせ	30
西支部学術講習会のお知らせ	30
西支部学術講習会のお知らせ	31
さいたま市支部学術講習会のお知らせ	31

ひろば

北支部学術講習会開催報告	32
東支部学術講習会開催報告	32

第144回埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コンペ 結果報告	33
-------------------------------	----

お知らせ

平成30年度日本獣医師会「小動物臨床講習会 (千葉県担当)」開催のお知らせ	34
埼玉県農林部畜産安全課長からのお知らせ	34
日本獣医師会からのお知らせ	37

埼玉県獣医師会学術広報版	41
--------------	----

事務局より

事務局メモ	43
-------	----

編集後記	44
------	----

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めます。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう
1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう
1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう
1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう
1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう



新年の御挨拶

公益社団法人 埼玉県獣医師会

会長 高橋 三男

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、ご健勝にて希望に満ちた新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日ごろから本会の業務運営に対しまして、深い御理解と温かい御支援を賜っておりますことに厚く御礼を申し上げます。

埼玉県獣医師会は創立70周年を迎え、昨年11月25日（日）には、さいたま市大宮区の清水園で創立70周年記念事業を開催し、ご来賓や会員あわせて530名という多くの方々に出席していただきました。記念式典、記念講演会、祝賀会と三部構成で開催し、その概要は今月号で紹介しています。

さて、昨年9月に岐阜県で26年ぶりに豚コレラが発生し、野生のイノシシでも感染が確認されました。12月25日までに県の畜産研究所を含め6農場、8,996頭で発生が認められました。さらに岐阜県内では90頭、愛知県内でも4頭のイノシシで感染が確認されています。

海外では昨年8月以降、中国でアフリカ豚コレラが猛威を振るっています。今や中国全土に感染が拡大し、我が国でも中国からの旅客が持ち込もうとした畜産物の検疫で遺伝子が確認されるなど、常に侵入の危機にさらされています。

狂犬病につきましては、国内では徹底した予防注射により、人では昭和32年以降発生をみていませんが、世界中では、毎年約5万人もの死者を出しています。「人と動物の共通感染症」は、世界各地で発生が続いており、その流行防止対策が喫緊の課題となっております。さらに「食品の安全性確保」への関心も益々、高まってきており、人と動物の健康を担う医師と獣医師が“One Health”の概念に基づき、密接に連携し、安全で安心な社会を構築することが今こそ求められています。

このことは、埼玉県においても同様であり、埼玉県獣医師会と埼玉県医師会とが協定を締結した時の理念である「人と動物の健康は一つ。そして、

それは地球の願い」との思いを抱いて、これまで以上に医師と獣医師が緊密に連携して、課題解決に取り組んでいく必要があると実感いたしているところであります。

埼玉県獣医師会といたしましては、これまでも「今ある命を大切にし、また、無駄な命を増やさない」をモットーに、動物福祉・愛護への考え方の普及を図ってまいりました。これからも、より、人と動物が共存する豊かな社会の実現が図られるよう、一層努力してまいりたいと考えています。

我が国は、これから、少子高齢化が一段と進み人口が減少するとともに、国民の生活様式や価値観も大きく変化していくものと思われます。また、高齢社会となって介護も増えてまいりますが、その一助として、動物との触れ合いも増えてくるものと思われます。私は動物の役割がますます重要になってくるため、改めて人と動物が共存して、豊かな社会が築いていけるようにしていきたいと考えています。そのためにも、獣医師会と医師会と行政が連携して、人と動物の共通感染症から国民と動物を共に守り、双方が安心して暮らしていける社会にしていきたいです。

私は、埼玉県獣医師会が公益団体として今後とも県民の期待に応えてまいりますため、引き続き、会員の皆様とともに、次の点に努力してまいりたいと考えております。

私たち埼玉県獣医師会は、

- 1 社会から期待され信頼される公益団体を目指すとともに、これまでの活動で培ってきた伝統を受け継ぎながら、新しい時代に向けた適切な会務運営に努めてまいります。
- 2 あらゆる機会を捉えて、獣医師及び獣医師会の果たす社会的使命や役割を広く情報発信するとともに、施策提言に努めてまいります。

また、「獣医師の誓い－95年宣言」、「埼玉県獣医師会員憲章」並びに「獣医師会活動指針」

に則り、会員の法令遵守と獣医師職業倫理の高揚を図ってまいります。

- 3 国や県、市町村、また、埼玉県医師会などの関係団体と緊密に連携し、食の安全確保対策の推進や狂犬病等の人と動物の共通感染症の予防対策に適切に対応してまいります。

また、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザなどの家畜伝染病については、発生予防、迅速な通報と初動防疫及び飼養管理基準の遵守等について、行政機関と連携して指導に努めてまいります。

- 4 人と動物が共存する豊かな地域社会の実現を目指して「埼玉県動物愛護管理推進計画」の着実な推進を支援してまいります。

また、命の尊さを通じ豊かな感性を育てる学校動物飼育活動や動物福祉の増進等の取組を推進してまいります。

- 5 「災害時における愛護動物の救護活動に関する覚書」に基づき、埼玉県と連携して具体的な救護体制の整備に取り組んでまいります。

また、傷病野生鳥獣の保護管理につきましては、埼玉県の進める保護対策事業を推進し、生物多様性の保全を図ってまいります。

- 6 学術講習会や交流会等を積極的に開催するとともに、各種学会への会員の参加を支援することで、知識、技術の高位平準化を図り、その成果を広く県民に還元してまいります。

さらに、日本獣医師会の「獣医師生涯研修事業」については、本会が全国トップクラスの実績を誇っておりますことから、引き続き、会員の参加を促進してまいります。

- 7 動物愛護フェスティバルや日本獣医師会主催の動物感謝デー等に積極的に参加し、獣医師会の果たす役割と会員の活動内容を広く県民に啓発してまいります。

私は、昨年11月30日にパレスホテル東京で開催された全国獣医師会・会長会議において、常設議長として議事を進行しました。すでに3期目となりましたが、地方会の会長からは、現場の有意義な質問や意見を引き出し、執行部には、適切な回答を求めて、その調整対応にあたり、円滑な運営に務めました。今後も日本獣医師会と地方獣医師会とが連帯感をもって諸事業を推進するとともに、これらの課題解決にあたっていけるよう努力

していきたいと考えております。

また、多様化した変革の時代にあっては、埼玉県獣医師会は、動物や人の健康など、人々の生活に直結した幅広い分野で活躍されておられる会員の皆様を「主役」に、会員相互の「絆」を深めながら、組織としての総合力を発揮していくことが重要となってまいります。

私たちは、昨日より今日、今日より明日と、日々「進歩」しておりますが、これからの時代は、進歩だけでは社会の期待に応えていくことはできません。進歩しつつも、組織の中で大きく変革し「進化」していかなければなりません。

私は、これからも皆様とお互いに手を携え、常に「進歩と進化」を続け、組織のリーダーとして初心を忘れることなく、国や地方、県や市町村、更には政治や各種団体等、各界、各層と密接に連携を図りながら、「熟慮」、「決断」、「実行」をモットーに、新しい時代の潮流を見定め、期待される埼玉県獣医師会の構築のために全力で取り組んでまいります。

組織の舵取りを行っていくには「3つの目」が必要とされます。一つ目は、近づいて様々な角度から複眼的に物事を見る「虫の目」、二つ目は、高い位置から俯瞰的に全体を見回して物事を見直す「鳥の目」、そして、三つ目が、潮の流れを見る、つまり、時代の流れを読む「魚(さかな)の目」です。私は、常にこの「3つの目」の視点を持って、今後とも会の運営に努力してまいりますので、皆様の一層の御支援をお願い致します。

今年は亥年(いとし)です。亥という字は「骨格」「骨組み」というのがもともとの意味です。また、現在では、動物の「猪」が割当てられています。猪の肉は万病を予防するといわれ、「無病息災」の象徴とされています。今年は、埼玉県獣医師会会員が健康で一致団結し、新たな節目に向かって大きな一歩を踏み出して一層強固な獣医師会にしていく年になるものと思っております。

今年は、天皇陛下の生前退位により、平成から新たな元号となる歴史的な年でもあります。これが紛争のない平和な世界のきっかけになることを願うとともに、本年が、会員の皆様にとりまして、希望に満ちて、健康で平和に過ごせる一年となりますことを心からお祈り申し上げ、私の新年の御挨拶とさせていただきます。

公益社団法人埼玉県獣医師会 創立70周年記念事業 盛大に開催される

平成30年11月25日（日）、午後2時から、さいたま市大宮区の「清水園」において、埼玉県知事、市長、衆・参国會議員、県議會議員、さいたま市議會議員、行政機関、日本獣医師会、地方獣医師会、顧問弁護士・税理士、関係団体、協賛企業等、多くのご来賓のご臨席のもと、約530名が出席し、記念式典、記念講演会、祝賀会が盛大に開催されました。



公益社団法人埼玉県獣医師会 高橋三男会長による主催者あいさつ

I 創立70周年記念式典（午後2時～午後3時20分）

記念式典は、大橋邦啓総務委員長が総合司会、フリーアナウンサーの吉田名保美さんがアシスタントを務め進行しました。開会前の時間を利用して、オープニングセレモニーに関連した岩槻鷹狩り行列の紹介及び埼玉県獣医師会のこの10年間の歩みをスライドショーにして会場正面及び左右のスクリーンで上映しました。

- 1 オープニングセレモニー 放鷹義塾（大橋邦啓代表）の鷹匠が会場後方より開会メッセージを携えた鷹を放つと、鷹は壇上で待ち構える清水勇人さいたま市長の左腕に見事に止まり、メッセージを届けた。そのメッセージを中村滋副会長が読み上げ、開会を宣言した。
- 2 埼玉県獣医師会会員憲章の唱和 八木賢裕監事の唱導により、会員が起立して唱和した。
- 3 物故会員に対する黙祷 長澤泰保監事の合図により一分間の黙とうを捧げご冥福を祈った。
- 4 主催者挨拶 高橋三男会長が挨拶を行った。
- 5 表彰式 受彰者の氏名（別紙）を読み上げ、次のとおり表彰状を授与した。

(1) 埼玉県知事感謝状授与（受彰者 8 名）

受彰者を代表して中村滋先生（東支部）に埼玉県知事（代理 篠崎豊農林部長）から授与された。

(2) 日本獣医会長感謝状授与（受彰者11名）

受彰者を代表して諸角元二先生（東支部）に日本獣医師会 藏内勇夫会長から授与された。

(3) 埼玉県獣医師会長特別感謝状授与（受彰者 1 名）

(4) 埼玉県獣医師会長表彰状授与（受彰者59名）

受彰者を代表して石黒富雄先生（南支部）に埼玉県獣医師会 高橋三男会長から授与された。

(5) 埼玉県獣医師会長感謝状（受彰者 個人 5 名、
広告協賛会社・団体65社）

受彰者を代表して高橋謙治顧問弁護士に埼玉県獣医師会 高橋三男会長から授与された。

6 受彰者代表謝辞 受彰者を代表して石黒富雄先生（南支部）から謝辞が（別紙）述べられた。

7 五十嵐名誉会長を偲んで 平成25年に逝去された五十嵐幸男名誉会長の在りし日の姿をスライドショーが上映され、その功績を偲んだ。

8 来賓祝辞 次の方々から祝辞（別紙）を頂いた。

- (1) 埼玉県知事 上田清司様（篠崎豊農林部長が代理）
- (2) さいたま市長 清水勇人様
- (3) 公益社団法人日本獣医師会長 藏内勇夫様
- (4) 一般社団法人埼玉県医師会長 金井忠男様
- (5) 埼玉県市長会副会長、加須市長 大橋良一様

9 来賓紹介 当日出席して頂いたご来賓（別紙）を紹介した。

10 閉会のことば 小暮一雄副会長が御礼を述べ閉会となった。



鷹が運ぶ開会メッセージを受け取る清水勇人さいたま市長



開会のメッセージを読み上げる中村滋副会長



式典でご挨拶を頂いたご来賓ら

前列右から 篠崎豊埼玉県農林部長、清水勇人さいたま市長、大橋良一加須市長、藏内勇夫日本獣医師会長、酒井健夫日本獣医師会副会長、北村直人日本獣医師会顧問、金井忠男埼玉県医師会長

公益社団法人埼玉県獣医師会創立70周年記念式典会長あいさつ

埼玉県獣医師会 会長 高橋三男

開会にあたりまして、本日、我が埼玉県獣医師会の総務委員会委員長で放鷹義塾の塾長を務めます大橋先生のご指導により、鷹が開会のメッセージを運びました。徳川家康公が鷹狩りをこよなく愛し、岩槻を頻繁に訪れ、城主がこれをお迎えした岩槻の鷹狩り行列が全国に名を轟かせました。6年前に岩槻を訪れた清水市長の熱意と市議会議員の総意により、鷹狩り行列をイベントとして現代に再現しました。私が実行委員長を仰せつかり、今年第6回目を開催し、今や国際的な催しとなっております。今回は獣医師会の70周年を機にその前途を祝して鷹にメッセージを運んでもらったところであります。この件につきましては埼玉県の環境部長さんにもお骨折りいただっており、この場をお借りして感謝を申し上げます。

本日は、埼玉県獣医師会創立70周年式典にご案内申し上げたところ、多数のご来賓、会員、関係者の皆様のご参加をいただき、厚く御礼申し上げます。昨今、世はまさに明治、大正、昭和は遠くなりにけりという言葉が飛び交う世相であります。今や平成時代も30年を経て間もなく幕を閉じ、新しい年号となるとき、この平成最後の年に創立70周年の式典を開催することは意義深いものがあります。

また、極めてお忙しいなか、日本獣医師会から、福岡県議会議員を8期連続でお勤めの藏内勇夫会長、元日本大学総長の酒井健夫副会長、元衆議院議員、元農林水産副大臣の北村直人顧問にお越しいただいております。さらに、我々の人と動物の共生を目指す業務のなかで日夜ご指導、ご支援をいただいております、埼玉県獣医師会会長の金井忠男先生、埼玉県歯科医師会副会長の小杉国武先生、我々の同志であります関東・東京獣医師会連合会の各県の会長、副会長さん、そして県からは全国知事会会長の上田清司知事が後ほど講演会そして懇親会から同席をしていただきます。行政におきまして

は、担当の篠崎埼玉県農林部長さん、本多保健医療部長さん、加藤環境部長さん、さらに地元政令指定都市のさいたま市からは清水勇人市長、命の尊さを教育機関の中らご指導をいただいております細田眞由美教育長をはじめ、総勢535名の皆様のご臨席を頂いて開催できますことに厚く御礼申し上げます。

なお、本日は70年間にわたる県獣医師会の発展向上のためご尽力いただいた方々、そして学術の埼玉ここにありと、学術の研鑽にご功績のあった方々など149名の表彰者の皆様方には重ねて心から厚くお礼申し上げる次第であります。

第2部の講演会では、人と動物の共生する社会において、世界では10分に一人が命を落としている狂犬病ですが、我が日本におきましては、昭和31年以来発生していません。現在、世界で6か国が清浄国となっています。とはいえ日本は予防注射によって守られています。他の国では予防注射をしないで清浄化を保っていますが、国際化が進展し、いつどこで侵入するかわからない状況で、今までの観念で狂犬病行政を行うと大きな過ちを犯す恐れもあります。世界の中で日本がどうあるべきか、今までの体制でよいのかどうか、酒井健夫先生にご指導を頂きたいと思っています。

また、我が国の動物病院は60%が一人で経営していますが、昨今、飼育者のニーズは多様化しています。二次診療を行う病院も大学病院、高度医療、専門病院と多岐にわたっています。獣医師会はそのような方々と連携を深めながら、飼育者が安心してペットと生活できる環境をつくることも必要であると思っています。東京大学教授で前動物医療センター所長の辻本元先生にご指導を仰ぎたいと思っています。

さらに、戦後、昭和23年に医師、昭和40年には歯科医師が6年制教育となり、それに続いて獣医師も6年制教育となりました。県庁にも多くの獣

医師が6年制教育に誇りを持って勤めています。上田清司知事には、そういった職員が獣医師の業務において、県民の安全安心のために働いているという角度からお話をいただきますが、全国知事会会長として、地域から日本を変えるという大きなテーマでも併せて講演をしていただきます。

第3部は皆様とともに、国会議員、県議員、市議会議員を始め、関係する方々453名が一同に会し、お互いの立場で交流しながら獣医師会の発展のために懇談する機会を設けさせていただきました。多岐にわたる獣医師の仕事について問題意識を共有することにより、人々の暮らしにかかわる我々獣医師と政治家が共通の認識を深めていかなければなりません。どうか最後までこの機会を有効にお使いいただきたいと思います。

そして、この10年間の出来事で忘れてはならないのが、私たちが信頼してやまない前埼玉県獣師会長、元日本獣医師会長の五十嵐幸男先生がお亡くなりになったことです。そのご子息で星薬科大学の教授をお勤めになった瀬山義幸薬学博士もお見えいただきたいと思います。後ほどスライドで五十嵐先生の思い出を映写し、ご冥福をお祈りしたいと

思っています。

結びにあたりまして、私は埼玉県獣医師会の先人の残した一つひとつの実績と功績をしっかりと受け継ぎながら、次代の流れに流されることなくしっかりと目を向けて、声ある声はつぶさにとりいれ、声なき声にも慎重に耳を傾けながら、御来賓の先生方のご指導をいただきながら獣医師会をしっかり守っていきたい。このような決意を新たにしたところであります。

この記念すべき70周年、竹は節目によって大きく成長すると伝えられています。我々も70周年という大きな節目をしっかりと皆さんと共に今日作って、明日から力強い第一歩を踏み出していきたいと思っております。本日は誠にありがとうございます。

私の会長としての70周年に対するご挨拶は皆様方のお手元の記念誌に掲載させていただきました。どうかご一読いただきまして、ご理解あるご賛同をいただくことを心からお願い申し上げます。主催者としての御礼とお願いを込めたご挨拶にかえさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

埼玉県獣医師会創立70周年記念式典表彰者等名簿

(順不同、敬称略)

埼玉県知事感謝状贈呈者

新井 宣明	金子素奈穂	小暮 一雄	三森 信行	浅見 寿
田坂 邦安	中村 滋	八木 賢裕		

日本獣医師会長感謝状贈呈者

長嶋 成憲	荒井 渉	斎藤 和也	太田庚一郎	鈴木 光郎
増田 俊治	佐藤 澄美	諸角 元二	斎藤 章暢	斎藤 守弘
松岡 俊和				

埼玉県獣医師会長特別感謝状贈呈者

石黒 富雄

埼玉県獣医師会長表彰状等贈呈者

各支部功績者

古川原敏江	竹野 精次	清野 真吾	藤井 芳美	石黒 博之
川辺 貴久	藤井 忠之	山本 祥子	宇津木 清	栗原 重夫
高田 峰昭	今井賢太郎	久保山 匡	中村 陽二	外園 孝二
尾崎 里香	小林 裕幸	小森 元幸	渋谷 正志	竹田 誠
横山 学	市川 克己	小林精一郎	坂梨 栄二	篠宮 哲彦
高島 将彦	戸村 英則	橋谷田 元	馬場 正次	福田 郡盛
山我 伸代	吉永 光宏	吉安 美穂	梅澤 正親	金子 保之
北野 俊明	鴻巣 泰	近藤 晴哉	鈴木 智	中澤 正至
西野 豊	廣田あづさ	水島 健雄	長峯 隆	

学会優秀発表者

近藤 貴英	安里 誠	近 真理奈	油井 武	伊藤 麗子
新井 陽子	金野 敏明	柴田 光啓	灰井 康佑	中井 悠華

物故会員功績者

故 小彼辰巳	故 森田 一	故 小林罔仁	故 川上生三郎
故 柿沼元治			

埼玉県獣医師会長感謝状贈呈者

顧問弁護士 高谷 進	共立製薬株式会社
顧問弁護士 鶴田 進	株式会社インターベツト
顧問弁護士 高橋 謙治	バイエル薬品株式会社
顧問税理士 間嶋 順一	ゾエティス・ジャパン株式会社
事務局元専務理事 齊藤憲彦	KMバイオロジクス株式会社
アクティ株式会社	D S ファーマアニマルヘルス株式会社
株式会社アスコ	富士フィルムメディカル株式会社
森久保薬品株式会社	富士フィルムモノリス株式会社
日本全薬工業株式会社	株式会社ビルバックジャパン
武蔵野ペット霊園・大宮武蔵野ペット霊園	日清ペットフード株式会社
株式会社アサヒコミュニケーションズ	千寿製薬株式会社
ベテリナリアンズシナジー株式会社	日本ヒルズ・コルゲート株式会社
株式会社埼玉りそな銀行	株式会社V & P
株式会社武蔵野銀行	株式会社森乳サンワールド
学校法人シモゾノ学園 大宮国際動物専門学校	株式会社シード
株式会社テレビ埼玉プランニング	いなばペットフード株式会社
獣医療開発株式会社	株式会社グリーンチップス
フジタ製薬株式会社	ベーリンガーインゲルハイムアニマルヘルスジャ
エランコジャパン株式会社	パン株式会社

株式会社メディカルスペース
 MPアグロ株式会社
 株式会社ニュービジョンコーポレーション
 埼玉県武州和牛組合
 株式会社エムイーテクニカ
 株式会社ミート・コンパニオン
 株式会社Life & Tail
 さいたま食肉市場株式会社
 農場管理獣医師協会
 株式会社ウエイ
 埼玉県深谷牛
 埼玉県農業共済組合
 アイデックスラボラトリーズ株式会社
 シンメディコ株式会社
 埼玉県畜産会
 埼玉県酪農協会
 埼玉県肉用牛経営者協会

埼玉県養豚協会
 埼玉県養鶏協会
 埼玉県養蜂協会
 株式会社清水園
 松研薬品工業株式会社
 日生研株式会社
 埼玉県動物薬品器材協会
 テルモ株式会社
 株式会社微生物化学研究所
 株式会社オカモト
 東亜薬品工業株式会社
 株式会社安田システムサービス
 株式会社ヘリテージリゾート
 ミヤリサン製薬株式会社
 フクダ・エム・イー工業株式会社
 日本光電北関東株式会社



埼玉県知事感謝状 篠崎豊埼玉県農林部長が受彰者代表の中村滋副会長に授与



日本獣医師会会長感謝状 藏内勇夫日本獣医師会会長から受彰者代表の諸角元二先生に授与





埼玉県獣医師会会長特別感謝状・表彰状 高橋三男会長から受彰者代表の石黒富雄先生に授与



埼玉県獣医師会会長感謝状 高橋三男会長から受彰者代表の高橋謙治顧問弁護士に授与

受彰者謝辞

全ての受彰者150名を代表し、埼玉県獣医師会会長特別感謝状を受彰した元理事、元監事の石黒富雄先生（南支部）が謝辞を述べられました。

石黒先生は、昭和56年から平成29年までの36年間にわたり理事、監事を務め、埼玉県獣医師会の発展に多大な功績をあげられました。



全受彰者を代表して謝辞を述べる石黒富雄先生(南支部・元理事、元監事)

謝 辞

受彰者を代表しまして、一言御礼申し上げます。
 只今は、公益社団法人埼玉県獣医師会創立七十年記念式典の席上におきまして、多くの御来賓の方々のご臨席のもと、埼玉県知事感謝状、日本獣医師会長感謝状、そして高橋三男埼玉県獣医師会長の表彰状や感謝状と、それぞれが大変荣誉ある表彰をして頂き、身に余る光栄であります。

私は高橋会長とは大学が同期でした。卒業後、共に埼玉県獣医師会に入会し、高橋会長の後を追うように役員となつてから、三十六年間、共に切磋琢磨しながら会の発展に努めさせて頂きました。私は残念ながら健康を害し、昨年引退をしましたが、今回七十周年という大きな記念すべき式典において表彰して頂くことは身に余る光栄であり、人生に悔いなしと胸にせまるものがあります。

高橋会長は情熱、使命感、行動力は誰にも負けることなく、不可能を可能にするリーダーシップを発揮し、会をけん引してまいりました。

これを一つの区切りとして、公益社団法人埼玉県獣医師会が高橋会長を中心に益々発展向上をすることを心からご祈念申し上げ、受彰者を代表しての謝辞といたします。

平成三十年十一月二十五日

公益社団法人埼玉県獣医師会

南支部 石黒富雄

祝 辞

ご来賓を代表して、篠崎豊埼玉県農林部長、清水勇人さいたま市長、藏内勇夫日本獣医師会長、金井忠男埼玉県医師会長、三林裕巳衆議院議員・医師、大橋良一埼玉県市長会副会長・加須市長に御祝辞をいただきました。



篠崎豊埼玉県農林部長



清水勇人さいたま市長



藏内勇夫日本獣医師会長



金井忠男埼玉県医師会長



三ツ林裕巳衆議院議員・医師



大橋良一市長会副会長・加須市長

公益社団法人日本獣医師会会長 藏内勇夫様の御祝辞

ご紹介をいただきました、日本獣医師会の会長を務めております、藏内でございます。今日は、酒井副会長、そして北村顧問、三人三役で出席をさせていただきました。

このたび、公益社団法人埼玉県獣医師会が創立70周年をお迎えになりまして、多くのご来賓の御出席のもとに盛大に記念式典が開催されますことを日本獣医師会を代表し、心からお慶びを申し上げます次第でございます。

また先ほど表彰をお受けになられました皆様方には長年にわたり獣医界の発展のためににご協力、ご努力をいただきました。心からお慶びを申し上げ、今後さらなる私ども獣医師会に対しますご支援のほどをよろしくお願いを申し上げます次第であります。

この70年の間に埼玉県獣医師会は埼玉県と一緒に多くの時代の変遷を乗り越えてこられたと思います。70年前といえば、まだ我が国は食料を確保することが第一でありました。つまり獣医界においては産業動物が主体でございました。その後、高度成長あるいは安定成長、成熟化社会を迎え、動物との共生時代がやってまいり、動物を愛護する、そして今日では多くの災害あるいは虐待から動物を保護する時代に代わってまいりました。そして今日は埼玉県獣医師会の金井会長も御出席いただいておりますが、我々獣医師は動物の健康を守って人間の健康を支える役割を担っておりま



知事控室にて

左から 藏内勇夫日本獣医師会会長、上田清司埼玉県知事、高橋三男会長、金井忠男埼玉県医師会長

す。医師は直接人間の健康を支え、そしてお互いが協力することによって地球上の命を守る、地球の環境を保全する。これが我々の大きな役割であります。つまりワンヘルス、地球上の一つの命を守っていかうと、こういう時代になりました。こういう中で埼玉県獣医師会は、55の地方会の中でその先頭を切って我々日本獣医師会と共に車の両輪で御尽力を賜ってまいったところであります。歴代の会長、特に五十嵐前会長、あるいは高橋現会長、高橋会長は55の全国の地方会会長の議長を三期連続で務めていただいております。改めて埼玉県獣医師会の多くの皆様方に日本獣医師会として心から御礼とお祝いを申し上げます。ほんとうにおめでとうございます。

今、埼玉県は47都道府県の中で、知事がおられ

たらよかったんですが、最も勢いのある県だと言われている。色々な日本一を獲得をされ、そして、来年のラグビーワールドカップ、再来年のオリンピック・パラリンピック、このメイン競技が埼玉県で開催をされるわけであります。上田知事は私と一緒に福岡県出身でありますので、全国知事会長に就任されまして、大変誇りに思っているところであります。また先日テレビを見ておりましたら、埼玉県志木市の「カパル」ですか、ゆるキャラの全国グランプリで1位を獲得したと、本当におめでとうございます。こういう埼玉県の大きな発展の一翼を担ってくれたのが埼玉県獣医師会ではなかったかと思っています。

私は会長に就任いたしまして、1通の手紙を先輩からいただきました。それにはこう書いてございます。今日は開会で鷹が開会の宣言を運んでく

れました。鳥は空から地上を見下ろすことができる生き物であります。安倍総理はよく俯瞰的な外交をやりたいと、大局に立って、上空からみた日本の外交をやりたいとおっしゃっています。つまり鳥の目は全体が見える目だと、それからもう一つ各分野、各角度から周辺を見ることもまた大事だと、それができるのはいわゆる昆虫、虫の目である。そして時代の先を読まなければならない。魚の目というのは潮の流れを読む、この三つの目をもって藏内君頑張ってほしいという手紙でありました。出された本人がこの蝶ネクタイとタキシードの似合う高橋会長でございます。

今回の70周年を契機に公益社団法人埼玉県獣医師会が益々大きく羽ばたかれること、そして皆様方のご健勝を心からご祈念申し上げまして、お祝いいたします。おめでとうございます。



多数の出席者で賑わう記念式典会場



閉会の辞を述べる小暮一雄副会長

公益社団法人埼玉県獣医師会創立70周年記念式典 祝賀会 御来賓名簿

(順不同、敬称略)

埼玉県知事	上田 清司	衆議院議員 第9区	大塚 拓
埼玉県議会副議長	高橋 政雄	衆議院議員 第10区	山口 泰明
埼玉県議会環境農林委員長	新井 豪	衆議院議員 第12区	野中 厚
埼玉県議会福祉保健医療委員長	小久保憲一	衆議院議員 第13区	土屋 品子
さいたま市長	清水 勇人	衆議院議員 第14区	三ツ林裕巳
さいたま市議会議長	新藤 信夫	衆議院議員 第15区	田中 良生
埼玉県市長会副会長 加須市長	大橋 良一	衆議院議員	牧原 秀樹
桶川市長	小野 克典	衆議院議員	中根 一幸
久喜市長	梅田 修一	衆議院議員	小宮山泰子
さいたま市副市長	日野 徹	衆議院議員	森田 俊和
公益社団法人日本獣医師会 会長	藏内 勇夫	参議院議員	大野 元裕
公益社団法人日本獣医師会 顧問	北村 直人	参議院議員	関口 昌一
公益社団法人日本獣医師会 副会長	酒井 健夫	参議院議員	西田 実仁
公益社団法人茨城県獣医師会 会長	宇佐美 晃	参議院議員 埼玉県獣医師連盟顧問	古川 俊治
公益社団法人栃木県獣医師会 会長	大住 敬	参議院議員	矢倉 克夫
公益社団法人東京都獣医師会 副会長		埼玉県議会議員 南4区	鈴木 弘
	安田 辰巳	埼玉県議会議員 南4区	高木 真理
公益社団法人千葉県獣医師会 会長	市川陽一郎	埼玉県議会議員 南5区	藤井 健志
公益社団法人神奈川県獣医師会 会長		埼玉県議会議員 南6区	井上 將勝
	鳥海 弘	埼玉県議会議員 南6区	田村 琢実
公益社団法人横浜市獣医師会 会長	井上 亮一	埼玉県議会議員 南10区	宮崎栄治郎
公益社団法人千葉県獣医師会 副会長		埼玉県議会議員 南12区	小島 信昭
	村田 佳輝	埼玉県議会議員 南13区	石渡 豊
公益社団法人千葉県獣医師会 専務理事		埼玉県議会議員 南14区	岡地 優
	廣山 健一	埼玉県議会議員 南16区	中屋敷慎一
一般社団法人埼玉県医師会 会長	金井 忠男	埼玉県議会議員 南20区	細田 善則
一般社団法人埼玉県歯科医師会 副会長		埼玉県議会議員 西1区	岡田 静佳
	小杉 国武	埼玉県議会議員 北3区	齊藤 邦明
衆議院議員 第1区	村井 英樹	埼玉県議会議員 北4区	小川真一郎
衆議院議員 第2区	新藤 義孝	埼玉県議会議員 北5区	小林 哲也
衆議院議員 第3区	黄川田仁志	埼玉県議会議員 東5区	石井 平夫
衆議院議員 第4区	穂坂 泰	埼玉県議会議員 東6区	岡 重夫
衆議院議員 第5区	枝野 幸男	埼玉県議会議員 東7区	白土 幸仁
衆議院議員 第6区	大島 敦	埼玉県議会議員 東11区	吉良 英敏
衆議院議員 第7区	神山 佐市	さいたま市議会議員 西区	上三信 彰
衆議院議員 第8区	柴山 昌彦	さいたま市議会議員 北区	関根 信明

さいたま市議会議員	北区	伊藤 仕	埼玉県肉用牛経営者協会	会長	植井 敏夫
さいたま市議会議員	見沼区	小森谷 優	埼玉県養鶏協会	会長	栗原 桂一
さいたま市議会議員	中央区	高柳 俊哉	埼玉県配合飼料価格安定基金協会		
さいたま市議会議員	桜区	阪本 克己		理事長	松本 邦義
さいたま市議会議員	浦和区	青羽 健仁	公益社団法人日本獣医師会		
さいたま市議会議員	南区	萩原 章弘		事務局次長	駒田 逸哉
さいたま市議会議員	南区	桶本 大輔	一般社団法人埼玉県医師会	事務局長	
さいたま市議会議員	緑区	神崎 功			牧野 文隆
さいたま市議会議員	岩槻区	高野 秀樹	株式会社埼玉りそな銀行		
さいたま市議会議員	岩槻区	江原 大輔		取締役兼専務執行役員	藤田 正幸
さいたま市議会議員	岩槻区	吉田 一志	株式会社武蔵野銀行	副頭取	町田 秀夫
さいたま市議会議員	岩槻区	新井 森夫			
東京大学教授		辻本 元	日本政策金融公庫さいたま支店		
埼玉県農林部長		篠崎 豊		国民生活事業事業統轄	藤野 信裕
埼玉県保健医療部長		本多 麻夫	株式会社テレビ埼玉プランニング		
埼玉県環境部長		加藤 和男		代表取締役社長	井上 正一
埼玉県農林部副部長		牧 千瑞	株式会社埼玉新聞社		
埼玉県食品安全局長		根岸 章王		代表取締役社長	小川 秀樹
埼玉県農林部農業政策課長		前田 幸永	さいたま商工会議所	会頭	佐伯 鋼兵
埼玉県農林部畜産安全課長		丸山 盛司	さいたま商工会議所	専務理事	矢部 憲春
埼玉県保健医療部生活衛生課長		市川 克己	公益社団法人さいたま観光国際協会		
埼玉県保健医療部食品安全課長		吉永 光宏		会長	清水志摩子
埼玉県環境部みどり自然課長		梅本 祐子	学校法人シモゾノ学園 国際動物専門学校		
埼玉県中央家畜保健衛生所長		岩田 信之		大宮国際動物専門学校 理事長	下藺 恵子
埼玉県川越家畜保健衛生所長		島野 知二	株式会社ヘリテージリゾート		
埼玉県熊谷家畜保健衛生所長		野澤 裕子		代表取締役社長	杉田 憲康
埼玉県秩父高原牧場長		宇田川浩一	アクティ株式会社	常務取締役	久保 博巳
埼玉県食肉衛生検査センター所長		小林精一郎	アクティ株式会社動薬事業部		
埼玉県動物指導センター所長		篠宮 哲彦		さいたま第一営業所長	山崎 克明
さいたま市教育長		細田真由美	株式会社アスコ	取締役東日本支店	
さいたま市動物愛護ふれあいセンター				支店長	根岸 哲治
	所長	太田 伸	株式会社アスコ	大宮営業所 所長	相川 富男
土屋総合法律事務所 顧問弁護士		高橋 謙治	森久保薬品株式会社	専務取締役	
間嶋順一税理士事務所 所長顧問税理士				営業本部長	高崎 正好
		間嶋 順一	森久保薬品株式会社	埼玉事業部	
埼玉県農業共済組合 組合長理事		井上 清		事業部長	川喜田哲哉
一般社団法人埼玉県畜産会 会長		坂本 富雄	森久保薬品株式会社	東京事業部	
埼玉県酪農協会 会長		高田 茂		事業部長	小林絵梨子
埼玉県養豚協会 会長		加藤 健一	日本全薬工業株式会社	CA事業部	

埼玉事業所 所長 小川 勝
日本全薬工業株式会社 CA事業部
野田事業所 所長 橋本 憲輝

株式会社武蔵野ペット霊園 会長 山川 勝弘
株式会社アサヒコミュニケーションズ
会長 新井 正敏

Ⅱ 記念講演会（午後 3 時30分～午後 5 時20分）

記念式典に引き続き、午後 3 時30分から田中裕学術委員長の総合司会により、記念講演会を開催しました。

記念講演会は平成30年度集合狂犬病予防注射実施者講習会及び日本獣医師会事業の関東地区獣医公衆衛生講習会を兼ねて開催させていただきました。

- 1 開会 田中裕学術委員長が開会を宣言した。
- 2 主催者挨拶 高橋三男会長が挨拶を行った。
- 3 集合狂犬病予防注射説明 渋谷正志狂犬病予防委員長が集合狂犬病予防注射事業の注意点を説明した。

4 講演

- (1) 狂犬病など人獣共通感染症について（20分間）

講師：日本獣医師会副会長、元日本大学総長 酒井健夫様

講師紹介：長谷川繁雄先生（東支部）

- (2) 二次診療、高度獣医療の実態と今後の展望（40分間）

講師：東京大学教授、前東京大学付属動物医療センター長 辻本元様

講師紹介：高橋一成先生（さいたま市支部）

- (3) 地方から日本を変える（45分間）

講師：埼玉県知事 上田清司様

講師紹介：岩田信之理事（農林支部）

- 5 閉会 田中裕学術委員長が閉会を宣言した。

Ⅲ 祝賀会（午後 5 時40分～午後 7 時30分）

記念講演会に引き続き、大橋邦啓総務委員長、林繁雄理事の総合司会により進められました。

- 1 オープニングセレモニー 放鷹義塾（大橋邦啓代表）の鷹匠が会場後方より開会メッセージを携えた鷹を放つと、鷹は壇上で待ち構える上田清司埼玉県知事の左腕に見事に止まりメッセージを届けた。そのメッセージを上田知事が読み上げ、開会を宣言した。
- 2 主催者挨拶 高橋三男会長が多くのご来賓の御出席に対しお礼のことばを述べた。
- 3 来賓挨拶 次の方々に御挨拶を頂いた。
 - (1) 埼玉県知事 上田清司様
上田知事には、御挨拶を頂いた後、昨年10月29日（月）に開催された第62回埼玉県公衆衛生大会における埼玉県獣医師会への知事感謝状を改めて高橋会長に授与して頂いた。
 - (2) 日本獣医師会顧問 北村直人様
 - (3) 埼玉県議会議長 高橋政雄様
 - (4) さいたま市議会議長 新藤信夫様



日本獣医師会副会長 酒井健夫様



東京大学教授 辻本 元様

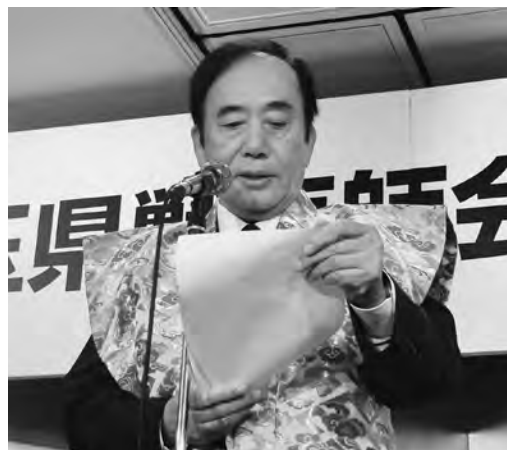


埼玉県知事 上田清司様

- 4 鏡割り 酒樽を三つ用意し、鏡割りを行った。
- 5 乾杯 埼玉県医師会会長 金井忠男様に乾杯のご発声を頂いた。
- 6 来賓紹介 ご来賓にグループごとに壇上に上がっていただき一言ずつ御挨拶を頂いた。
- 7 祝電披露 頂いた祝電（別紙）を紹介した。
- 8 手締め 顧問税理士 間嶋順一様、埼玉県配合飼料価格安定基金協会理事長 松本邦義様、埼玉県農業共済組合組合長理事 井上清様のご発声により手締めを行った。
- 9 閉会 比留間一男監事が御礼を述べ閉会となった。



オープニングセレモニー
鷹から開会メッセージを受け取る上田清司知事



開会メッセージを読み上げる上田清司知事



公衆衛生大会知事感謝状の贈呈
左から 金井忠男埼玉県医師会会長、高橋三男会長、
上田清司知事



御挨拶を頂いたご来賓
左から 上田清司知事、北村直人日本獣医師会顧問、高橋政雄埼玉県議会副議長、新藤信夫さいたま市議会議長



鏡割り(中央の樽)

左から 日野徹さいたま市副市長、新藤信夫さいたま市議会議長、金井忠男埼玉県医師会長、高橋三男会長、上田清司知事、北村直人日本獣医師会顧問、梅田修一久喜市長



鏡割り(左側の樽)

左から 小島信昭県議会議員、西田実仁参議院議員、山口泰明衆議院議員、古川俊治参議院議員・埼玉県獣医師連盟顧問、大島敦衆議院議員



鏡割り(右側の樽)

左から 大住敬栃木県獣医師会長、市川陽一郎千葉県獣医師会長、鳥海弘神奈川県獣医師会長、佐伯鋼兵さいたま商工会議所会頭、酒井健夫日本獣医師会副会長、辻本元東京大学教授、清水志摩子さいたま国際観光協会会長、宇佐美晃茨城県獣医師会長



乾杯

乾杯の発声は金井忠男埼玉県医師会長(左から3人目)にお願いしました。
右から 北村直人日本獣医師会顧問、上田清司知事、高橋三男会長



市長、副市長の皆様の紹介

左から 小野克典桶川市長、梅田修一久喜市長、日野徹さいたま市副市長



来賓の皆様の紹介
左から 佐伯鋼兵さいたま商工会議所会頭、清水志摩子さいたま国際観光協会会長



国会議員の皆様の紹介
上段左から 山口泰明衆議院議員、大島敦衆議院議員、西田実仁参議院議員、古川俊治参議院議員
下段左から 村井英樹衆議院議員、神山佐市衆議院議員、小宮山泰子衆議院議員、三ツ林裕巳衆議院議員



国会議員の皆様の紹介
左から 大野元裕参議院議員、黄川田仁衆議院議員、穂坂泰衆議院議員、森田俊和衆議院議員



県議会議員の皆様の紹介

上段左から 小島信昭様、鈴木弘様、田村琢実様、石井平夫様
下段左から 中屋敷慎一様、齊藤邦明様、小川真一郎様、新井豪様



県議会議員の皆様の紹介

上段左から 白土幸仁様、岡田静佳様、吉良英敏様、小久保憲一様
下段左から 岡地優様、岡重夫様、高木真理様、井上將勝様



県議会議員の皆様の紹介
藤井健志様



市議会議員の皆様の紹介
左から 江原大輔様、小森谷優様、新藤信夫様、
青羽健仁様



市議会議員の皆様の紹介
左から 高野秀樹様、桶本大輔様、関根信明様、
上三信彰様、神崎功様、萩原章弘様



市議会議員の皆様の紹介
左から 高柳俊哉様、吉田一志様、新井森夫様、
伊藤仕様



関東地区の獣医師会長の皆様の紹介
左から 宇佐美晃茨城県獣医師会会長、大住敬栃木県獣医
師会長、市川陽一郎千葉県獣医師会長、鳥海弘
神奈川県獣医師会長



行政関係の皆様の紹介
右から 細田真由美さいたま市教育長、篠崎豊埼玉県農
林部長、本多麻夫埼玉県保健医療部長、加藤和
男埼玉県環境部長、牧千瑞埼玉県農林部副部長、
根岸章王埼玉県食品安全局長、前田幸永埼玉県
農業政策課長



マスコミ・金融関係の皆様の紹介

左から 小川秀樹埼玉新聞社代表取締役社長、藤田正幸
埼玉りそな銀行取締役、町田秀夫武蔵野銀行副
頭取、藤野信裕日本政策金融公庫さいたま支店
国民生活事業統括、下園恵子シモゾノ学園理事
長、井上正一テレビ埼玉プランニング代表取締
役社長



手締め

左から 間嶋順一顧問税理士、井上清埼玉県農業共済組
合組合長、松本邦義埼玉県配合飼料価格安定基
金協会理事長

公益社団法人埼玉県獣医師会創立70周年記念式典 祝電等 御芳名

(順不同、敬称略)

メッセージ

鴻巣市長	原口 和久
衆議院議員	中根 一幸
衆議院議員	大島 敦
参議院議員	関口 昌一

祝電

衆議院議員	村井 英樹
埼玉県議会議員	美田 宗亮
埼玉県議会議員	中野 英幸
埼玉県議会議員	日下部伸三
埼玉りそな銀行 代表取締役社長	池田 一義
武蔵野銀行 頭取	加藤喜久雄
安田システムサービス 取締役会長	吉田 雅俊
浦和競馬組合調教師会	
(株)日本政策金融公庫 総裁	田中 一穂
日生研(株) 代表取締役	長井 伸也
松研薬品工業(株) 代表取締役	松岡 研司
東亜薬品工業(株) 代表取締役社長	増田 隆



閉会を宣言する比留間一男監事

Ⅳ 記念誌の発行

公益社団法人埼玉県獣医師会創立70周年を記念し、上田知事に題字の揮毫をお願いし「創立70周年記念誌」(112ページ)を発行しました。記念事業にご臨席いただいたご来賓の皆様や会員を始め、全国の獣医師会に配布しました。



Ⅴ 埼玉新聞に掲載

11月28日の埼玉新聞紙面に創立70周年記念事業の様子が掲載されました。



Ⅵ 千葉県獣医師会報に掲載

市川陽一朗会長、村田佳輝副会長、廣山健一専務理事の3名に出席していただいた公益社団法人千葉県獣医師会の会報新年号に、創立70周年記念事業の様子を掲載していただきましたので紹介させていただきます。

《事務局からの報告》

埼玉県獣設立70周年記念式典に参加して

11月25日（日）、埼玉県大宮市内の「清水園」で午後2時からの埼玉県獣医師会設立70周年記念式典に参加しました。

午後2時から1時間半は功労者表彰などの式典、午後3時半からの第2部は講演会、午後6時からの第3部は記念祝賀会というハードなスケジュールであるにも関わらず、会場は5百人を超える来場者で熱気あふれていました。

特に、第2部の講演会は大変勉強になりました。3名の講師の先生がお話しされましたが、最初に登壇された日本獣医師会副会長の酒井健夫先生のお話は、狂犬病予防に関するものでした。日本は同病清浄国ではあるが、近隣国・地域では野生動物含めて発生しており、我が国は予防注射で守られていること、にもかかわらず最近では予防注射不要論とは言わないまでも、その経済的評価や発生確率などを抛り所に廃止すべきと受け取れる意見があり、これに対する酒井先生ならではの異論もお話されていました。大変造詣の深いお話でした。

その後にお話しされたのは、東京大学の辻本教授でした。ご自身東大の動物医療センターのセンター長をお務めになられた経験から、二次診療・高度医療体制のあり方についてお話がありました。

本会では、今回の委員会体制再編の中で、良質かつ高度な獣医療提供体制の構築に向けての検討を行うこととしていますが、近隣都県と違い、本県内には獣医系大学もなく、どのような体制が実現性があるのか暗中模索状態にあり、先生のお話は大変参考になりました。

内部における話題としては、動物病院を特定した体制ではなく、地域内ネットワーク型の二次診療体制が構築できないかとの意見もありました。現状中央、北部、西部、南部、東部の5つのブロック分けがありますが、各ブロックに専門もしくは得意とする先生がいて、疾患によって各専門の先生にお願いするシステムが望ましいとの意見でした。この意見は、会員動物病院悉皆アンケート調査の結果でも多くみられました。

その場合の問題点としては、各ブロックに、どのような領域の専門の先生が確保できるのか、ということで、これについては現在の県獣セミナーやブロックセミナーの再編により、県獣では専門医制度も睨みながら高度診療技術習得に主眼を置いた研修・実習、ブロックセミナーは「診断と治療」としてシリーズで日常の業務に必要な知識、技術の習得、そしてもう一つは初級セミナーとしての卒後研修など大枠を定めて、計画的に開催する体制としなければならないということでした。

更に、二次診療体制と併せて、セカンド・オピニオン体制をどうするか、高度医療提供はどうするかの課題もあります。

セカンド・オピニオンに関しては、実際問題としては、これを普通に浸透していくには、開業の先生方にとって、かなりの勇気も求められます。しかしながら、人の医療にも言えることですが、飼い主さんへの親切、納得のいく対応に取り組むには避けて通れない問題です。

本会の実情を鑑みると、二次診療とセカンド・オピニオン対応の件は、一体的に取り組んだ方が現実的なのかも知れません。後援のあと辻本先生とはこのような考え方について意見を交換させていただきました。そして、今後本会で検討する際にはアドバイスも下さるとのことでした。

高度医療の問題は、今のところ具体的な方向性は議論になっていませんが、都内あるいは県内にもある高度医療専門施設との連携も模索していく必要があると思います。

いずれにしても、委員会でじっくりと議論を深め、本会の実情に適合する体制を早く構築していかなければなりません。会員動物病院の認識と意思が一つになることが求められます。

3人目の講師は、埼玉県の上田知事でした。「地方から国を変える」と題した講演は、政治家らしからぬ詳細なデータをもとに、地方の自己変革の必要性について訴えた内容でした。ユーモアを交えてのお話には、思わず引き込まれるものがありました。大変勉強なさっている知事さんだと感心した次第です。人気番組である「チコちゃんに叱られる」も取り入れた視点での分かりやすい地方経営論、地方改革論であり、その先に見据えているのはお国の変革であるとの内容でした。

最初の酒井先生のお話は、埼玉県獣が毎年行っている集合注射従事者研修としても位置付けられており、以前本会報で紹介したように、埼玉県獣ではこの研修受講者でしか集合注射には従事できないとのことでした。このため、70周年記念行事がメインではありましたが、開業の先生方はほぼ全員会場に詰めていらっしゃいました。

第3部の祝賀会のも500人近くが参加され、大変な盛り上がりでした。午後2時から始まり4時間も経っているにもかかわらず、会員は残らず参加され、更には式典、講演、祝賀会のいずれも埼玉県獣医師会の総務委員や学術委員が司会進行と会場内の運営をすべて取り仕切っていたことには驚きと感動さえ覚えました。

以前、埼玉県獣の高橋会長からお聞きしたことがあります、「組織のレベルは所属会員がいかに自主性と自発性をもっているかである」とか「組織のリーダーはロマンを語らなければならない」とかのお言葉です。実際、80歳を超えてなお獣医師会のあるべき姿を熱くお話になられるのには頭が下がります。

今回の70周年記念行事に、埼玉県知事や埼玉県医師会会長始め各界から参席されていましたが、これも高橋会長の日頃からのお付き合い、懇親を深められたことによるものと思われます。

さて、いよいよ来年度は、本会も社団法人設立50周年を迎えます。昭和45年に、それまでの開業の先生方の獣医師組合を母体として、公職や共済連、民間の研究所や公職・共済OB並びに民間企業に勤務されている方々も大同団結して社団法人千葉県獣医師会が発足し、平成23年度からは公益社団法人に移行して今日に至っております。この間、様々な問題に直面しながらも、一致団結して乗り越えてきました。

50周年という節目に、大同団結時の先輩たちの熱意に思いを馳せ、更なる時代に向けて心をつなげて組織の発展を図っていかなければなりません。10年後に向けて、千葉県獣医師会の礎を強固なものにしていくためにも会員の皆様のご理解と御協力が不可欠です。よろしくお願い申し上げます。

(事務局)

70周年記念事業に御出席頂いた千葉県獣医師会の皆様



市川陽一朗千葉県獣医師会会長



右から 村田佳輝千葉県獣医師会副会長、
廣山健一専務理事

平成30年度埼玉県家畜保健衛生業績発表会開催報告

平成30年12月21日（金）午前9時30分から、さいたま市の「埼玉会館 3C会議室」において、平成30年度埼玉県家畜保健衛生業績発表会が開催されました。

この発表会は、家畜衛生及び家畜管理技術の改善向上に資することを目的に埼玉県農林部が毎年度、開催しているもので、農林部の獣医・畜産関係職員や埼玉県獣医師会等の関係者65名が参加して、県関係機関が実施した事業や調査研究等に関する成果発表と活発な討議が行なわれました。

1 開会

発表会は、原裕畜産安全課主幹の司会で進行し、根岸章王埼玉県食品安全局長の主催者挨拶に続き、助言講師及び来賓の方々が御紹介されました。助言講師は、一般財団法人日本生物科学研究所の土屋耕太郎常務理事、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門の國保健浩越境性感染症研究領域 海外病ユニット 主席研究員、公益社団法人埼玉県獣医師会の高橋三男会長、埼玉県中央家畜保健衛生所の岩田信之所長、埼玉県農業技術研究センターの神田徹副所長の5名の先生方で、また、来賓として埼玉県獣医師会の中村滋副会長と小暮一雄副会長が出席いたしました。



助言講師、来賓の先生方

前列左から 小暮一雄副会長、中村滋副会長、高橋三男会長、土屋耕太郎日本生物科学研究所常務理事、國保健浩農業・食品産業技術総合研究機構主席研究員、
後列左から 岩田信之中央家畜保健衛生所所長、神田徹農業技術研究センター副所長

2 発表・討議

発表は3部で構成され、第1部が「家畜保健衛生所の運営及び家畜保健衛生所の企画推進に関する業務」に関するもので6題の発表がありました。また、第2部の「家畜保健衛生所及び病性鑑定施設における家畜の保健衛生に関する試験及び調査成績」は5題、第3部の「家畜保健衛生所以外の畜産関係機関における試験、研究、調査成績」は2題であり、合計13演題が発表されました。

それぞれの発表終了後には、高橋会長をはじめとする各助言講師から、熱心な質問や助言があり、活発な討議が行なわれました。

3 審査結果発表

発表終了後、別室において助言講師による審査会が行われ、埼玉県代表と埼玉県獣医師会長賞が選考されました。

審査会が開催されている間に発表会場では、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門 越境性感染研究領域の山田学上席研究員を講師として、豚コレラ、アフリカ豚コレラに関する講演が行われました。

審査会終了後、助言講師を代表して國保健浩主席研究員から、埼玉県代表として関東甲信越ブロック業績発表会で発表される演題の発表と講評がありました。

埼玉県代表演題

第1部

研究用試薬を用いたリアルタイムPCR法で全頭陽性を示したヨーネ病高度汚染農場の清浄化（熊谷家畜保健衛生所 安井杏菜 ほか）

第2部

子牛の *Mannheimia haemolytica* 血清型 2 型による壊死性繊維素性胸膜肺炎の一症例（中央家畜保健衛生所 小池絵理子 ほか）

豚サーコウイルス 3 型（PCV3）の県内浸潤状況調査と病態関与への一考察（中央家畜保健衛生所 曾田泰史）

続いて、高橋三男埼玉県獣医師会長が「今回は13題の発表があり、時代の変化に対応した非常に意義深い内容のものであった。第1部では、全国的に問題となっている牛のヨーネ病の清浄化対策や野生イノシシの豚コレラ抗体保有状況調査などに熱心に取り組み、成果を上げたものが多く、第2部では、全国的にも珍しい症例についての発表もあった。さらに、第3部の秩父高原牧場と農業技術研究センターの発表は農場でも応用可能な技術であり、今後大きく役立つものと思う。

いずれも今回の発表で終わりにすることなく、ぜひ継続して進めていただき、その成果を再度発表していただきたい。」と挨拶を述べたあと、埼玉県獣医師会長賞の受賞者を発表しました。



講評と獣医師会長賞の発表を行う
高橋三男会長

埼玉県獣医師会長賞受賞演題

第1部

国内豚コレラ発生に伴い強化した野生いのしし抗体保有状況調査（川越家畜保健衛生所 杉山公一 ほか）
養蜂家の衛生意識向上を目指して！養蜂勉強会のアンケート調査から見えた衛生管理状況（中央家畜保健衛生所 山本栄子 ほか）

第3部

高原牧場における黒毛和種ゲノミック評価結果と考察（秩父高原牧場 秋山 義侑 ほか）

4 表彰及び閉会

審査結果の発表後、関東甲信越ブロック業績発表会への埼玉県代表に選出された3名には丸山盛司畜産安全課長から、また、埼玉県獣医師会会長賞に選出された3名については、高橋三男会長、中村滋副会長及び小暮一雄副会長から表彰状が授与され、午後4時に閉会となりました。



埼玉県獣医師会会長賞の受賞者を囲んで

前列左から 神田徹副所長、土屋耕太郎常務理事、國保健浩主席研究員、高橋三男会長、受賞者の山本栄子先生(中央家保)、秋山義佑先生(秩父高原牧場)
後列左から 岩田信之中央家保所長、小暮一雄副会長、中村滋副会長、根岸章王食品安全局長、受賞者の杉山公一先生(川越家畜保健衛生所)、丸山盛司畜産安全課長

平成31年 1 月20日

会員各位

公益社団法人埼玉県獣医師会
会 長 高 橋 三 男

北海道胆振東部地震復旧支援・動物救護活動のための 支援金募集の終了について

今回の北海道胆振東部地震の発生に伴い、我々の仲間である現地の動物診療獣医師はじめ多くの方々が、多大で困難な事情に直面しております。埼玉県獣医師会は、この度、被災地の動物救護活動等の推進確保や獣医療提供体制の復旧対策に充てる目的で日本獣医師会が定めた「平成30年度北海道胆振東部地震動物救護活動等支援金」募集要領の趣旨に則り、会員の皆様に支援金を募りましたところ、12月末現在で307,656円のご協力をいただきました。

集まった支援金は日本獣医師会に送金するとともに、ご協力いただいた会員の皆様には領収書を送付させていただきます。

第 5 回 理事会

平成30年12月12日（火）午後4時から、さいたま市岩槻区「寿々家」において次の事項を審議した。

1 会長挨拶

今年は激動の1年間であり、獣医師会でも多くの出来事があった。新設された獣医科大学に141名が入学した。卒業して国民に期待される立派な獣医師になることを願っている。埼玉県獣医師会は今年70周年を迎えた。獣医師は戦後の蛋白源の供給から発展したが、70周年記念事業には多くの分野から530名の方々に出席していただき、獣医師の専門分野が多岐にわたっていることを改めて痛感した。本日は慎重な審議をお願いします。

2 報告事項

(1) 前理事会後に開催された委員会等に関する件

各委員長から次のとおり報告された。

ア 第2回狂犬病予防委員会及び平成30年度集合狂犬病予防注射実施者講習会 創立70周年記念式典、講演会を実施者講習会として開催し、その運営と平成31年度集合狂犬病予防注射実施スケジュールについて協議した。(11月25日)

イ 第3回総務委員会 70周年記念事業の運営について協議した。(11月25日)

3 議決事項

第1号議案 役員報酬の支給に関する件

各役員に支給する役員報酬額について決定した。

第2号議案 平成30年度新入会員の承認に関する件

2名の入会が承認された。

第3号議案 集合狂犬病予防注射実施班の変更と班長の承認に関する件

蓮田班を蓮田班と白岡班に分割することとそれぞれの班長候補者が承認された。

4 協議事項

ア 平成31年度集合狂犬病予防注射実施に関する件について

集合狂犬病予防注射実施者講習会に出席できなかった先生を救済することについて協議し、了承された。

イ 平成71回定時総会開催に関する件

第71回定時総会の日程について協議し、開催予定日を平成31年6月5日（水）とすることが了承された。

ウ その他

入会促進について

今後開業部会運営委員会で検討していくことが了承された。

予 告

北支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1) 小3(9) 小3(10))

北支部長 大橋 邦啓
学術委員 田口 正行

北支部では2月3日(日)に学術講習会を開催します。

講師の先生は、日本大学の枝村一弥先生をお招きいたします。

テーマは、『整形外科疾患と神経疾患の違いを見きわめる～CT検査とMRI検査を行う前に1次診療医は何をするべきか～』です。多くの先生方のご参加をお待ちしています。

日 時：平成31年2月3日(日)
13:30～17:00

場 所：ホテルシティーフィールドかごはら
熊谷市籠原南1-123
TEL 098-531-2626

演 題：「整形外科疾患と神経疾患の違いを見きわめる」
～CT検査とMRI検査を行う前に1次診療医は
何をするべきか～

講 師：日本大学生物資源科学部 獣医学科 獣医外科学教室
准教授 枝村 一弥 先生

参 加 費：埼玉県獣医師会会員 無料
会員外の受講者 3,000円



北支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(4) 小3(6))

北支部長 大橋 邦啓
学術委員 田口 正行

北支部では3月24日に、ベーリンガーインゲルハイムジャパン株式会社の協賛のもと、宮崎大学の中村健介先生をお招きして学術講習会を開催いたします。

テーマは、「循環器セミナー2019：変わりつつある僧帽弁閉鎖不全症の治療」です。

多くの先生方のご参加をお待ちしています。

日 時：平成31年3月24日(日)
13:30～17:00 (受付13:00～)

場 所：深谷市男女共同参画推進センター 多目的ホール
深谷市上柴町西4-2-14
アリオ深谷 3F (食品売り場エレベーターから)
TEL 048-573-4761
※深谷駅南口よりアリオ深谷行の無料循環バスが運行しています。

演 題：「循環器セミナー2019：変わりつつある僧帽弁閉鎖不全症の治療」

講 師：宮崎大学 テニユアトラック推進機構
獣医内科学分野 テニユアトラック准教授 獣医師・博士(獣医学)
中村 健介 先生

参 加 費：埼玉県獣医師会会員 無料
会員外の受講者 3,000円



南支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小1(3) 小1(5))

南支部長 田中 裕
 学術委員 大野 潤
 開業部会第一運営委員 宗像 俊太郎

南支部では、来年2月11日（月・祝）に学術講習会を開催致します。

講師の先生はカルフォルニア大学デビス校（University of California, Davis）にいらっしゃった田中亜紀先生をお招き致します。先生はシェルターメディシンの専門家で、災害が起きたときに我々が実際にどう動いたらよいかという具体的なお話をして頂きます。防災意識向上のためにも多くの方々のご参加をお待ちしております。

日 時：平成31年2月11日（月・祝）
 13：30～16：30

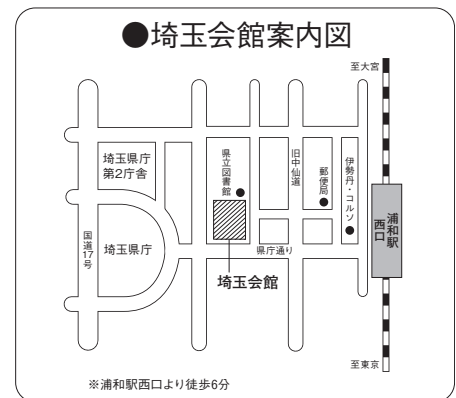
場 所：埼玉会館 2F ラウンジ
 さいたま市浦和区高砂3-1-4
 TEL 048-829-2471

演 題：「災害時の動物管理について」

講 師：カルフォルニア大学デビス校
 日本獣医生命科学大学ポストドクター 田中亜紀 先生

対 象：獣医師、動物看護師、県内自治体職員

参 加 費：埼玉県獣医師会会員 無料
 会員病院勤務の獣医師、看護師 無料
 県内自治体職員 無料
 上記以外の受講者 5,000円



西支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1) 小2(4))

西支部長 別部 博司
 学術委員 佐藤 博司

西支部では、2019年3月3日（日）に日本獣医生命科学大学の水越美奈先生をお招きして「初めての行動治療学～診断から薬物療法まで～」の演題で学術講習を開催します。特に診断までの過程と治療について、「飼主への攻撃」「高齢性認知機能不全」を例にとりながら詳しくお伝えします。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

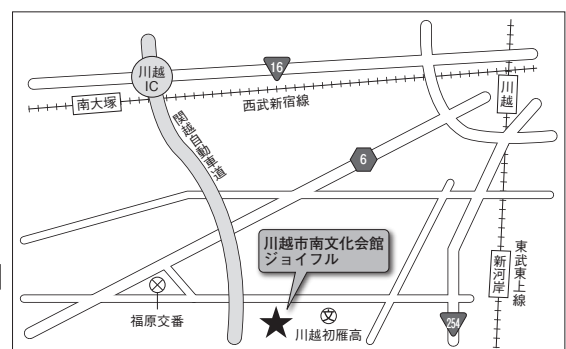
日 時：平成31年3月3日（日）
 13：30～16：30（13：00受付）

場 所：川越南文化会館（ジョイフル）
 川越市今福1295-2
 TEL 049-248-4115

演 題：「初めての行動治療学～診断から薬物療法まで～」

講 師：日本獣医生命科学大学 准教授 水越美奈先生

参 加 費：埼玉県獣医師会会員 無料
 会員以外の受講者 5,000円



西支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1) 小2(4))

西支部長 別部 博司
学術委員 佐藤 博司

西支部では、2019年3月17日(日)に『どうぶつの総合病院』神経科 金園 晨一先生をお招きして「早期に2次診療を受けるべき神経疾患」の演題で学術講習会を開催します。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

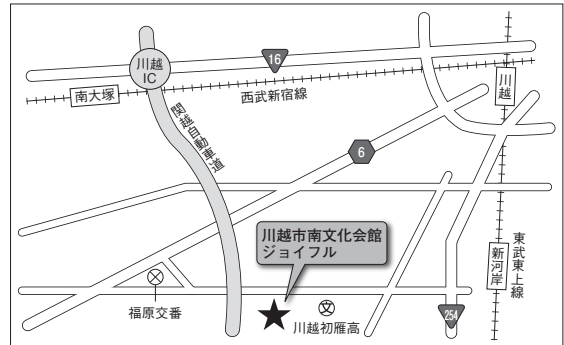
日 時：平成31年3月17日(日)
13:30～16:30 (13:00受付)

場 所：川越南文化会館 (ジョイフル)
川越市今福1295-2
TEL 049-248-4115

演 題：「早期に2次診療を受けるべき神経疾患」

講 師：どうぶつの総合病院 神経科主任 金園 晨一 先生

参 加 費：埼玉県獣医師会会員 無料
会員以外の受講者 5,000円



さいたま市支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(2) 小2(4) 小3(6))

さいたま市支部長 山中 利之
学術委員 土谷 寛

さいたま市支部では、平成31年3月17日(日) JASMINE どうぶつ循環器病センター 上地正実先生をお招きして、「僧帽弁閉鎖不全症の内科治療と外科治療」をご講演いただきます。

日常の診療で最も診る機会の多い僧帽弁閉鎖不全症の内科治療ガイドラインのアップデートと、最新心臓外科の情報についてご紹介いただきます。

皆様のご参加をお待ちしております。

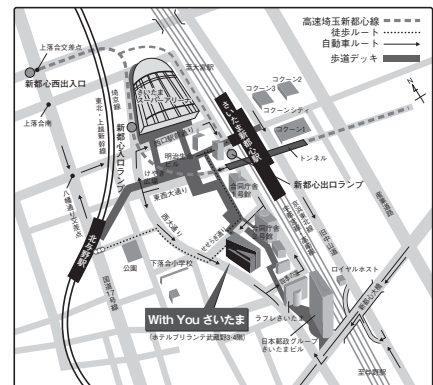
日 時：平成31年3月17日(日)
13:30～17:00

場 所：WithYouさいたま 視聴覚セミナー室
(ブリランテ武蔵野 4F)
さいたま市中央区新都心2-2
TEL 048-601-3111

講 演：「僧帽弁閉鎖不全症の内科治療と外科治療」

講 師：JASMINE どうぶつ循環器病センター 上地 正実 先生

参 加 費：埼玉県獣医師会会員 無料
会員以外の受講者 5,000円



ひろば

北支部学術講習会開催報告

北支部長 大橋 邦啓
学術委員 田口 正行

12月9日（日）深谷のアリオ深谷において、北支部学術研修会を開催しました。講師として群馬県伊勢崎市で獣医神経病の専門病院（ACORN獣医神経病クリニック）開業の奥野征一先生をお招きして、『疼痛を主徴とする神経筋疾患』をテーマにご講演をして頂きました。

疼痛の分類とその原因、特に神経障害性疼痛については末梢性、中枢性のそれぞれについての診断法、特にこれまでの臨床で接する機会の少ない電気生理学的な診断の必要性などについて沢山の動画を紹介しながら分かりやすく解説して頂いて、これまでの診察で見逃していた可能性が高い多くの疾患についての認識を新たにすることが出来ました。

講師の先生の穏やかな人柄のためか、なごやかな雰囲気での質問のしやすい研修会でした。

懇親会は深谷駅前の居酒屋さんに移動して行い、和やかなひと時をすごしました。

<参加者内訳>

出席者	北支部	団体支部	会員外
24名	18名	1名	5名

東支部学術講習会開催報告

東支部長 渋谷 正志
学術委員 佐久間昭仁

東支部では、12月9日まつき動物病院院長松木直章先生をお招きし、「犬と猫の糖尿病の維持管理、糖尿病性ケトアシドーシス」と題して学術講習会を開催しました。

教科書的な犬の糖尿病の診断基準、糖尿病の原因、臨床症状など実際の症例を交えて解説していただきました。例えば、糖尿病の原因である膵β細胞の脱落、膵炎、クッシング症候群、発情後高血糖、薬剤誘発性、若年性糖尿病に関して診断、検査並びに治療まで系統적으로ご教授していただきました。また、猫の糖尿病の2大原因である2型糖尿病と膵炎による糖尿病の違いを性差、体型、食欲、消化器症状、糖尿病療法食、インスリン療法による効果、跛行という項目に分別し、診察する中で飼い主の話の中にあるヒントを見逃さないという点にとっても興味を得ました。

ご参加いただいた先生からも興味深い質問が多数あり、今回の講習会が犬と猫の糖尿病の維持管理ならびに血糖コントロールに苦慮している先生の一助となれば幸いです。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
56名	4名	4名	1名	1名	37名	9名	0名

第144回 埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コンペ結果報告

埼玉県獣医師会ゴルフ同好会会長 長谷川 繁雄
小堺 正人

時折小雨の降る12月6日、鴻巣カントリークラブにおいて第144回埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コンペが23名の参加者で開催されました。

結果は、およそ10年ぶりに本同好会の会長である長谷川繁雄先生(東支部)が優勝し、梶山巖先生(南支部)が準優勝、第3位に山田和男先生(北支部)が入賞しました。また表彰式の後に恒例の年末オークションが行われ、パーティー也大いに盛り上がりました。

成績は以下の通りです。

	氏名(所属)	ネットスコア
優 勝	長谷川繁雄先生(東支部)	69
準優勝	梶山 巖先生(南支部)	71
第3位	山田 和男先生(北支部)	73

次回145回コンペは平成31年3月28日(木)に、同じく鴻巣カントリークラブにて開催される予定です。和気あいあいの楽しい会ですので、会員の皆様の参加をお待ちしております。



左から 梶山巖先生(準優勝)、長谷川繁雄先生(優勝)、山田和男先生(第3位)



当日の参加者一同

お知らせ

平成30年度日本獣医師会小動物臨床講習会（千葉県担当） 開催のお知らせ

日本獣医師会の小動物臨床講習会（関東地区）が千葉県の担当で下記のとおり開催されますのでお知らせします。

日 時 平成31年 3月10日（日）
午後3時～午後5時

場 所 T K P ガーデンシティ千葉 3階 シンフォニア
〒260-0025 千葉市中央区問屋町1-45 カンデオホテル千葉内
電話：043-302-1721
交通：JR総部線「千葉駅」下車 徒歩20分・JR京葉線「千葉みなと駅」徒歩15分

講習内容 小動物における心血管外科と輸血
講師 青木 卓磨 先生
麻布大学獣医学部獣医学科外科学第一研究室 准教授

参加を希望される先生は、2月12日（火）までに、埼玉県獣医師会事務局に下記何れかの方法でご連絡ください。

電 話 048-645-1906
F A X 048-648-1865
メー ル s-vma@vesta.ocn.ne.jp

畜安第687-3号
平成30年12月27日

公益社団法人 埼玉県獣医師会
会長 高橋 三男 様

埼玉県農林部畜産安全課
課長 丸山 盛司（公印省略）

豚コレラ、アフリカ豚コレラ及び鳥インフルエンザに係る 飼養衛生管理基準の再徹底について（通知）

日頃、本県の家畜衛生行政の推進につきまして、御理解、御協力いただき感謝申し上げます。

豚コレラをはじめ、口蹄疫、アフリカ豚コレラ、高病原性鳥インフルエンザ等については畜産業に重大な影響を与える家畜伝染病であることから、その防疫対策の強化、万が一の発生時のまん延防止対策の徹底等について、お願いしてきたところです。

一方、本年9月以降、岐阜県で豚コレラの発生が続いており、拡大豚コレラ疫学調査チーム検討会による疫学調査結果等の分析・検討の結果を受け、別添写しのとおり平成30年12月20日付け30消安第4654号により農林水産省消費・安全局動物衛生課長通知（以下「国通知」という。）がありました。

つきましては、貴会会員等に周知のうえ、飼養衛生管理基準の再徹底について御理解御協力いただきますよう、改めてお願い申し上げます。

※別添省略

畜安第688－3号
平成30年12月27日

公益社団法人 埼玉県獣医師会
会長 高橋 三男 様

埼玉県農林部畜産安全課長
丸山 盛司（公印省略）

年末年始、春節等に向けたアフリカ豚コレラ、口蹄疫等に関する 防疫対策の強化について（依頼）

日頃から家畜衛生行政の推進につきまして、御協力いただき感謝申し上げます。

アフリカ豚コレラ、口蹄疫等については、畜産業に重大な影響を与える家畜伝染病であることから、その防疫対策の強化、万が一の発生時のまん延防止対策の徹底等をお願いしてきたところです。

特にアフリカ豚コレラについては、本年8月に中国においてアジアで初めて発生が確認され、中国の広範囲で本病が確認されています。また、国の水際対策においても、中国からの旅客携行品である豚肉製品（輸入禁止品）3点からアフリカ豚コレラウイルスが検出されました。さらに、口蹄疫については、近隣諸国では散発的に発生が確認されています。

今後、年末年始、春節等を迎えるにあたり、海外と日本を往来する旅行者が増大し、アジア地域内での人・物の移動が活発になることから、我が国への家畜伝染病の病原体が侵入・まん延するリスクが一層高く緊迫した状況になると考えられます。

については、別添平成30年12月25日付け30消安第4661号（農林水産省消費・安全局動物衛生課長通知）をふまえ、下記について貴会会員に周知のうえ、引き続き、防疫対策の徹底をお願いします。

記

1 近隣国での直近の家畜伝染病発生状況について

- (1) アフリカ豚コレラ：ロシア、欧州で平成19年以降継続的に発生
中国で平成30年8月以降継続発生中（アジア初）
（国内発生なし、ただし中国からの旅客携行品から検出）
- (2) 口蹄疫：韓国（豚）で平成30年3月以降継続発生中（13か月ぶり）
中国（牛・豚）で平成21年以降継続発生中
（国内最終発生：平成22年）
- (3) 高病原性鳥インフルエンザ：韓国、台湾等で平成16年以降継続発生中
（国内最終発生：平成30年1月）

2 海外渡航等の自粛について

家畜の管理等を行う方は、口蹄疫等が発生している国への渡航について、可能な限り自粛してください。仮に渡航する場合は、以下の点に留意してください。

(1) 渡航に当たっての留意事項

- ア 家畜市場、農場やと畜場などの畜産関連施設に立ち入らないこと。
- イ 動物（野生動物を含む。）との不用意な接触を避けること。
- ウ 肉製品等を日本に持ち帰らないこと。
- エ 帰国の際には、到着した空海港の動物検疫所カウンターに立ち寄り、家畜防疫官の指導を受けること。

(2) 帰国後の留意事項

- ア 飼養衛生管理基準に基づき、帰国後一週間は衛生管理区域に立ち入らないこと。やむを得

ず立ち入る場合は、洗髪・入浴、更衣等適切な処置を講じた上で立ち入ること。

イ 飼養衛生管理基準に基づき、海外で使用した衣服及び靴を衛生管理区域に持ち込まないこと。やむを得ず持ち込む場合には、事前に洗浄、消毒その他必要な措置を講ずること。

3 消毒及び衛生管理区域への病原体の持込みの防止の再徹底について

衛生管理区域には、必要のない人の立ち入りや不要な物の持ち込みがないようにしてください。また、農場の従業員も含め、衛生管理区域や畜舎内に立ち入る場合や物品を持ち込む場合には、洗浄、消毒その他必要な措置を講じてください。

4 早期発見・早期通報の徹底について

家畜の管理等を行う方は、家畜伝染病を疑う家畜を発見したときは管轄の家畜保健衛生所に連絡してください。また、早期発見・早期通報できるよう、飼養家畜の健康観察は念入りに行ってください。

※別添省略

畜安第693－3号
平成30年12月28日

公益社団法人 埼玉県獣医師会
会長 高橋 三男 様

埼玉県農林部畜産安全課
課長 丸山 盛司（公印省略）

岐阜県で摘発された豚コレラ6例目の豚飼養農場における 疫学調査結果を踏まえた飼養衛生管理基準の再徹底について（通知）

日頃、本県の家畜衛生行政の推進につきまして、御理解、御協力いただき感謝申し上げます。

豚コレラをはじめ、口蹄疫、アフリカ豚コレラ、高病原性鳥インフルエンザ等については畜産業に重大な影響を与える家畜伝染病であることから、その防疫対策の強化、万が一の発生時のまん延防止対策の徹底等について、お願いしてきたところです。

一方、本年9月以降、岐阜県で豚コレラの発生が続いており、12月20日には約8,000頭規模の養豚農場で6例目の発生が確認されたところです。

これを受け、別添写しのとおり平成30年12月28日付け30消安第4782号により農林水産省消費・安全局動物衛生課長通知がありました。

つきましては、貴会会員等に周知のうえ、防疫対策の再徹底について御理解、御協力いただきますよう、改めてお願い申し上げます。

※別添省略

30日獣発第248号

平成30年12月17日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人日本獣医師会
会 長 藏 内 勇 夫
(公印及び契印の押印は省略)

動物用医薬品及び医薬品の使用の規制に関する省令の 一部を改正する省令の制定について

このことについて、平成30年11月29日付け30消安第3907号をもって、農林水産省消費・安全局長から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は動物用医薬品及び医薬品の使用の規制に関する省令の一部を改正する省令が公布され、平成31年1月13日以降、デキサメタゾンの食品中残留基準が大幅に引き下げられ、同成分を有効成分とする動物用医薬品を牛及び馬に使用した場合の休薬期間が長くなること、また懸濁性注射剤及び外用剤については食用動物に対する使用が禁止となることを通知するものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

事 務 連 絡

平成30年12月18日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人日本獣医師会
専務理事 境 政 人

脳機能の向上等を標ぼうする医薬品等を 個人輸入する場合の取扱いについて

このことについて、平成30年12月4日付け事務連絡をもって、農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐から、別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、厚生労働省から「脳機能の向上等を標ぼうする医薬品等を個人輸入する場合の取扱いについて（平成30年11月26日付け薬生監麻発1126第3号）」が通知されたことに伴い、①平成31年1月1日から、同通知の別添の成分を含む海外で販売されている人用の医薬品やサプリメント等の食品を自己が所有する動物に使用する目的で個人輸入する場合であっても、あらかじめ薬監証明の交付を受けるための必要書類の1つとして獣医師の指示書が求められること、また、②獣医師が自ら診察する動物の診断又は治療に供することを目的として輸入する場合は、これまでどおり、医療従事者個人用として薬監証明の交付が必要となることについて本会に周知が依頼されたものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

事務連絡

平成31年1月9日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人日本獣医師会

専務理事 境 政 人

動物用医薬品及び医薬品の使用の規制に関する省令の一部を 改正する省令の制定について

このことについて、平成30年12月21日付け事務連絡をもって、農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐から、別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和35年法律第145号）第83条の4第1項の規定に基づき、動物用医薬品及び医薬品の使用の規制に関する省令の一部を改正する省令（平成30年農林水産省令第80号）が公布・施行され、①「オルビフロキサシンを有効成分とする注射剤」について、牛に対する静脈注射に係る「用法及び用量」及び「使用禁止期間」を追加、②硫酸カナマイシンを有効成分とする飼料添加剤、飲水添加剤、強制経口投与剤及び気管内投与剤については、製造販売承認が整理されており、販売されていないため、これらの動物用医薬品の使用者が遵守すべき基準を削除すること、③「硫酸カナマイシン及びベンジルペニシリンプロカインを有効成分とする配合剤たる乳房注入剤」について、「使用禁止期間」を「食用に供するためにと殺する前7日間又は食用に供するために搾乳する前96時間」とすることについて本会に連絡されたものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

事務連絡

平成31年1月16日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人日本獣医師会

専務理事 境 政 人

「消費税率の引上げに伴う価格設定について（ガイドライン）」の 広報・周知等へのご協力のお願い（協力依頼）

このことについて、平成30年12月18日付け連絡文書をもって、農林水産省、内閣官房、公正取引委員会、消費者庁、財務省、経済産業省及び中小企業庁から、「消費税率の引上げに伴う価格設定について（ガイドライン）」の周知・広報について別紙のとおり協力依頼がありました。

つきましては、貴会会員及び関係者に当ガイドラインについて周知いただきますようよろしくお願いいたします。

※別紙省略

消費税率の引上げに伴う価格設定について（ガイドライン）

平成30年11月28日

内閣官房

公正取引委員会

消費者庁

財務省

経済産業省

中小企業庁

1. 価格設定に関する考え方

- ▶我が国においては、消費税が1989年に導入されて以降、導入時及び税率引上げ時に、一律一斉に価格が引き上げられるものとの認識が広く定着しています。
- ▶これに対し、1960年代から1970年代前半に付加価値税が導入され、税率引上げの経験を積み重ねてきている欧州諸国では、税率引上げに当たり、どのようなタイミングでどのように価格を設定するかは、事業者がそれぞれ自由に判断しています。このため、税率引上げの日に一律一斉に税込価格の引上げが行われることはなく、税率引上げ前後に大きな駆け込み需要・反動減も発生していません。
- ▶たしかに、消費税は、事業者ではなく、消費者が最終的には負担することが予定されているため、消費税率引上げ後に小売事業者が値引きを行う場合、消費税転嫁対策特別措置法により、「消費税はいただいていません」「消費税還元セール」など、消費税と直接関連した形で宣伝・広告を行うことは禁止されていますが、これは事業者の価格設定のタイミングや値引きセールなどの宣伝・広告自体を規制するものではありません。例えば、「10月1日以降〇%値下げ」「10月1日以降〇%ポイント付与」などと表示することは問題ありません。
- ▶また、今回は、中小・小規模小売事業者に対して、来年10月の消費税引上げ後の一定期間に限り、ポイント還元といった新たな手法などによる支援などを行う予定です。これにより、中小・小規模小売事業者は、消費税率引上げ前後に需要に応じて柔軟に価格設定できる幅が広がるようになります。
- ▶大企業においても、消費税率引上げ後、自らの経営資源を活用して値引きなど自由に価格設定を行うことに何ら制約はありません。

2. 適正な転嫁の確保

- ▶このように消費税率引上げ後、小売事業者が自らの経営判断により値引きを行うことに法令上の制約はありませんが、事業者間の取引については、当該小売事業者が製品・サービスを納入する下請事業者等がしわ寄せを受け、適正な価格転嫁ができず、増税分を負担させられるような事態があってはなりません。
- ▶消費税転嫁対策特別措置法は、小売事業者や下流の事業者が、下請事業者や上流の事業者に対し、消費税増税分を減額するよう求めたり、利益提供を求めたりすることなどを禁止しています。来年10月の消費税率引上げに際しても、下請事業者等に対するこうした不当な行為がなされないよう、引き続き、転嫁Gメンによる監視や関係機関による周知を厳格に行っていきます。

3. その他

- ▶消費税率引上げ後、消費の平準化を図るために一定の支援措置を講じる予定としており、事実反して、消費税率引上げ前に、「今だけお得」といった形で消費者に誤認を与え駆け込み購入を煽る行為は、景品表示法に違反する可能性があります。
- ▶消費税転嫁対策特別措置法は、税込価格の表示（総額表示）を義務化している消費税法の特例として、「事業者が表示する価格が税込価格と誤認されないための措置を講じているときは、税抜価格を表示できる」と規定しており、これについて特に変更はありません。
- ▶また、従来、消費税率の引上げを理由として、それ以上の値上げを行うことは「便乗値上げ」として抑制を求めてきましたが、これは消費税率引上げ前に需要に応じて値上げを行うなど経営判断に基づく自由な価格設定を行うことを何ら妨げるものではありません。

平成30年度埼玉県獣医師会学術広報版

(平成30年12月20日現在)

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
4 月			
5 月			
6月15日(金) ～17日(日)	第96回日本獣医麻酔外科学会／第108回日本獣医循環器学会／第63回日本獣医画像診断学会 2018春季合同学会 (さいたま市 大宮ソニックシティ)		
7 月 1 日(日)		南支部 「手術の基本とアップデート」 日本大学 浅野 和之 先生 (さいたま市 埼玉会館)	
7 月16日 (月・祝)		東支部 「猫のリンパ腫2018」 日本小動物がんセンター 小林哲也 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
7 月29日(日)		北支部 「犬の正常を知る」 アニマルクリニックこばやし 小林孝之 先生 (深谷市 埼玉グランドホテル深谷)	
8 月			
9 月 9 日(日)	平成30年度 関東・東京合同地区獣医師大会(茨城)獣医学術関東・東京合同地区学会 (茨城県つくば市 つくば国際会議場)		
9 月30日(日)		西支部 「家庭動物の終末期獣医療におけるアジェンダ」 「ホームドクターによるイヌの僧房弁逸脱症の臨床」 所沢愛犬病院 小暮 一雄 先生 (東松山市 ホテル紫雲閣)	
10月19日(金)	北支部・しゃくなげ会 「酪農場ベンチマーキングについて」 千葉県農業共済組合連合会 清水 秀茂 先生 (熊谷市 熊谷家畜保健衛生所)		
10月21日(日)		東支部 「犬の蛋白漏出性腸症 UPDATE2018」 日本小動物医療センター 中島 亘 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
11月 4 日(日)		南支部 「犬と猫の消化器の超音波画像診断」 どうぶつの総合病院 福田 祥子 先生 (さいたま市 埼玉会館)	
12月 9 日(日)		北支部 「疼痛を主徴とする神経筋疾患の診断と治療」 獣医神経病クリニックACORN 奥野 征一 先生 (深谷市 深谷男女共同参画推進センター)	
12月 9 日(日)		東支部 「犬と猫の糖尿病の維持管理、糖尿病性ケトアシドーシス」 まつき動物病院 松木 直章 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
12月21日(金)	農林支部 平成30年度埼玉県家畜保健衛生 生業績発表会 (さいたま市 埼玉会館)		
平成31年 1 月20日(日)		さいたま市支部 「救急診療のオキテ」 TRVA夜間救急動物医療センター 塗木 貴臣 先生 (さいたま市 With You さいたま)	

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
1 月20日(日)		南支部 「犬の僧帽弁閉鎖不全症の診療アップデート」 酪農学園大学 堀 泰智 先生 (さいたま市 TKPガーデンシティPREMIUM大宮)	
2 月 3 日(日)		北支部 「整形外科疾患と神経疾患の違いを見きわめる」 日本大学 枝村 一弥 先生 (熊谷市 ホテルシティーフィールドかごはら)	
2 月 8 日(金) ～10日(日)	平成30年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(神奈川) (新横浜プリンスホテル)		
2 月11日 (月・祝)		南支部 「災害時の動物管理について」 カルフォルニア大学 田中 亜紀 先生 (さいたま市 埼玉会館)	
2 月21日(木)			衛生支部 食肉衛生技術研修会 (さいたま市 県食肉 衛生検査センター)
3 月 3 日(日)		西支部 「初めての行動治療学～診断から薬物療法まで～」 日本獣医生命科学大学 水越美奈 先生 (川越市 川越南文化会館)	
3 月17日(日)		さいたま市支部 「僧帽弁閉鎖不全症の内科治療と外科治療」 JASMINEどうぶつ循環器病センター 上地正実 先生 (さいたま市 WithYou さいたま)	
3 月17日(日)		西支部 「早期に2次診療を受けるべき神経疾患」 どうぶつの総合病院 金園 晨一 先生 (川越市 川越南文化会館)	
3 月24日(日)		北支部 「循環器セミナー2019：変わりつつある僧 帽弁閉鎖不全症の治療」 宮崎大学 中村 健介 先生 (深谷市 深谷男女共同参画推進センター)	

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vma.org/>

ID：SVMA（半角・大文字） パスワード：MITSUO（半角・大文字）

- | | | | |
|--------|---|-----------|---|
| 12月21日 | 平成30年度埼玉県保健衛生業績発表会
（さいたま市 埼玉会館） | 2月8日 | 日本獣医師連盟通常総会（横浜市 新
横浜グレイスホテル） |
| 平成31年 | | 2月8日～10日 | 日本獣医師会獣医学術学会年次
大会（横浜市 新横浜プリンスホテル） |
| 1月2日 | 新春年頭挨拶放映（テレビ埼玉） | 2月11日 | 南支部学術講習会（さいたま市 埼玉
会館） |
| 1月17日 | 知事と農林水産団体長との懇談会（さ
いたま市 知事公館） | 2月11日 | 食肉衛生技術研修会（さいたま市 埼
玉県食肉衛生検査センター） |
| 1月20日 | さいたま市支部学術講習会（さいたま
市 With Youさいたま） | 2月15日～17日 | 第15回日本獣医内科学アカデ
ミー学術大会（横浜市 パシフィコ横
浜） |
| 1月20日 | 南支部学術講習会（さいたま市 TKP
ガーデンシティPREMIUM大宮） | 2月24日 | ボウリング大会（浦和国際ボウル） |
| 1月20日 | 西支部新年会（川越市 川越東武ホテ
ル） | 3月3日 | 関東・東京合同地区獣医師会理事会（茨
城県水戸市 三の丸ホテル） |
| 1月23日 | 埼玉県狂犬病予防協会研修会（桶川市
さいたま文学館） | 3月3日 | 西支部学術講習会（川越市 川越南文
化会館） |
| 1月23日 | 埼玉県狂犬病予防協会研修会（桶川市
さいたま文学館） | 3月3日 | 第3回関東・東京合同地区理事会（水
戸市 三の丸ホテル） |
| 1月27日 | 東支部新年会（越谷市 越谷サンシ
ティ） | 3月17日 | 西支部学術講習会（川越市 川越南文
化会館） |
| 1月27日 | 北支部新年会（深谷市 埼玉グランド
ホテル深谷） | 3月17日 | さいたま市支部学術講習会（さいたま
市 With You さいたま） |
| 1月30日 | 損害評価会家畜共済部会（さいたま市
埼玉県農業共済会館） | 3月24日 | 北支部学術講習会（深谷市 深谷男女
共同参画推進センター） |
| 1月31日 | 新入会員研修会（さいたま市 埼玉県
農業共済会館） | | |
| 2月3日 | 北支部学術講習会（熊谷市 ホテルシ
ティーフィールドかごはら） | | |

編集後記

あけましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

昨年は乱れに乱れた一年でしたが、今年はどうなにも平穏無事で穏やかな一年であって欲しいと願います。

昨年の（公社）埼玉県獣医師会は70周年記念式典に向けて、秋からは高橋会長と事務局はてんてこ舞いの忙しさでした。全て無事に、盛会裏に終了しましたことは関係者皆様と会員皆様のご理解とご協力の賜物と感謝申し上げます。

先日、千葉県獣医師会事務局から、埼玉県獣医師会設立70周年記念式典に参加されての感想文が届きました。千葉県獣医師会は来年50周年を迎えられるとの事ですが、今回の式典並びに狂犬病予防注射実施者講習会に参加して至極感動され、お褒めの言葉を頂き、埼玉県獣医師会の様に会員が大同団結して50周年を迎えたいとの事でした。

さて、今年は亥年、猪突猛進のイノシシが豚コレラウイルスに感染して、野山でウイルスをまき散らしている。重大な事件だ。昨年9月から26年ぶりに岐阜県で野生のイノシシから豚コレラ陽性の事例が続発して養豚場へ拡散し、その後岐阜県の公的機関に次々発生し、関市の養豚場では昨年12月末に繁殖豚871頭、肥育豚6,676頭を処分した。

知る範囲では農場は、蚊、ハエ、ネズミ、猫、カラス、アライグマ、イタチ、イノシシなどの昆虫や野生動物に対しては対応しているはずであるが、今回は重大な被害を及ぼす家畜伝染病の豚コレラウイルスに感染した動物が野山をうろうろしているのである。海外では国境はあるものの地続きなので慣れたことかも知れないが、日本は島国なので経験が乏しくなおさら大変である。一世紀以上にも亘る先人の先生方の

並々ならぬ努力で開発された、世界に誇れる素晴らしいGPE-株ワクチンによって豚コレラフリー宣言されたお陰で、豚肉を発生国からの輸入は禁止し、全世界に輸出する事が出来たわけだが、誠に残念である。発生県や近隣の県職員の皆さんや関係者は大変なご苦労されていることと案じております。野生動物との戦いは並大抵の事ではないでしょうが、一日も早く終息されることを祈っております。

野生動物の発生となるとまず浮かぶのは狂犬病だ、世界では野生動物が感染を繰り返すために撲滅しきれないでいる。今回の豚コレラと同じである。

集合狂犬病予防注射不要論も出ているようだが、とんでもない、もしも豚コレラと同じような事があったらどうする？以前、どこかの代議士が“人の命は地球より重い”と言ったが、その通りで、豚コレラは人には感染しないが、狂犬病は人が死ぬ。万が一狂犬病が発生したら間違いなく大騒ぎになるだろう、その時のパニックは計り知れないものがある。だれが責任取るのだ？

狂犬病予防注射をやめるのは簡単だ、しかしこれだけ流通が激しくなっている中で発生する可能性は益々高まっていると言わざるを得ない。

忘れてはいけない、犬の狂犬病予防注射は人間の狂水症を予防するため代わりに犬に予防しているという事を。

本号の表紙にもある様に各支部の講習会がめじろおしです。また、2月8日から10日まで日本獣医師会の年次大会が新横浜プリンスホテルで、15日から17日まで内科学アカデミーがパシフィコ横浜で開催されます。今年もしっかり勉強して良い年を送りましょう。（不動）



日本獣医師会・獣医師会活動指針

－ 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。－

- 1 地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につながる。」との考え方（One World-One Health）が提唱され、「人と動物が共存して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領－獣医師の誓い－95年宣言－」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与するとの責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

【参 考】

「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境（生態系）は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会（WSC）が提唱した。また、国際獣疫事務局（OIE）は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。



こわい狂犬病から
ぼくを守ってね

毎年1回の狂犬病予防注射を忘れずに！



研究開発元 一般財団法人 松岡科学研究所

製造販売元 松研薬品工業株式会社

〒184-0003 東京都小金井市緑町5丁目19番21号

TEL: (042) 381-0075 FAX: (042) 381-0344

URL: <http://www.matsuken-yakuhin.com>

E-mail: daihyo@matsuken-yakuhin.com

■ 松研狂犬病 TC ワクチン

劇 要指示 指定

松研の動物用生物学的製剤

豚用ワクチン

- 松研豚丹毒生ワクチン
- ポーシリス APP-N
- ポーシリス ERY
- ポーシリス STREPSUIS
- ポーシリス Begonia DF・10
- ポーシリス Begonia DF・50

水産用ワクチン

- Mバック レンサ 注
- Mバックイニエ
- 松研Mバック IPレンサ

家畜用抗毒素

- 破傷風血清

わたしたち森久保薬品は人と動物の「これから」を真剣に考えています。

胃腸と皮膚が気になる犬に

Dr. CREDO No.1
成犬用 総合栄養食 1kg・3kg

血流と健康が気になる犬に

Dr. CREDO No.2
中・高齢犬用 総合栄養食 1kg

下部尿路が気になる成猫に

Dr. IDEA No.1
成猫用 総合栄養食 150g×6パック(900g)

成猫の体重管理に

Dr. IDEA No.2
成猫用 総合栄養食 150g×6パック(900g)

M 森久保薬品株式会社

神奈川：046-221-0620 山梨：055-224-5278 群馬：027-230-3322 東京：042-564-2381 埼玉：04-2968-0881
三郷：048-948-2112 栃木：028-666-3399 茨城：0296-43-1661 成田：0476-40-5811 茂原：0475-24-1613